

2022年7月21日

リンク総合法律事務所  
弁護士 紀藤正樹様

東京都渋谷区松濤一丁目1番2号

世界平和統一家庭連合

法務部長 山田達也

電話03-3467-3183

FAX03-3467-3186



### 抗議及び謝罪訂正要求

前略 貴職が、7月20日放送の読売テレビ「情報ライブ ミヤネ屋」で行った当法人を誹謗中傷する発言に対して強く抗議し、同発言の撤回と謝罪を要求します。

貴職は当該番組で、「責任者と自分の部下である信者が数人で分かれて、お金がないものだから、信者に対して売春させていた事件まである。非常に深刻な事件まであって、お金集めのためには何でもする発想が、今は分裂含みで問題が生じている」と発言しました。“純潔”を教えの中核に位置づける当法人において、集金のために信者に売春をさせることなど断じてありません。貴職の発言は、当法人に社会的ダメージを与えることを意図したものであり、当法人に対する重大な名誉棄損です。

さらに、貴職の発言は一部大手メディアで取り上げられ、当法人が「献金のために信者に売春をさせる」宗教団体であるかのような情報が SNS 等を通じて拡散し、貴職の発言に端を発する当法人に対する名誉毀損の被害が拡大しています。貴職は、自らの Twitter アカウントで、「統一教会分派の事件ですので誤解なく」などと弁明していますが、それ自体、貴職の上記発言が当法人に対する著しい名誉棄損に当たることを自覚していることを裏付けていると言えます。

よって、当法人は貴職に対し、即刻、貴職の責任において、当該番組で上記発言を撤回し、謝罪するよう要求します。

本書送達後、当法人に対して3日以内に回答することを要求します。

早々

回答書

2022年7月27日

世界平和統一家庭連合  
法務部長 山田達也 殿

〒102-0083

千代田区麴町四丁目7番地

麴町パークサイドビル3階

リンク総合法律事務所

電話03-3515-6681

FAX03-3515-6682

弁護士 紀藤正樹



前略

貴団体の2022年7月21日付書面(7月25日受領)に対して次のとおり回答させていただきます。

さてご指摘の件は、当職において、同番組の中で、貴団体の分派の事件であることを明示した上での発言ですので、貴団体のご指摘は誤解に基づくものです。以上から、撤回と謝罪は不要と思料致します。

なお、貴団体ご指摘の当職のTwitterに記載したとおり、分派で起きる悲惨な事件については、魂の救済と言う点で、元の教団にも一定の責任があるという点については、拙著「マインド・コントロール」214頁で説明しているところですので、ぜひご覧ください。

また当職が同番組でコメントした事案は、売春時及び売春後の状況があまりにも悲惨かつ可哀想な事案でしたので、その具体的内容と結果まではコメントしていませんが、ぜひこの機会に、貴団体においても、分派の問題で起きている状況の深刻さにつき理解していただければと思います。コンプライアンスとい

うことを強調されるのであればなお一層、靈感商法被害の救済も含め、分派問題につきましても、過去に生じた被害回復のための措置を含む抜本的な対策をしてほしいと思います。

当職は、対論と議論を通じ真実が深まると考えておりますので、今後も、お電話等でも構いませんので、何かあれば当職宛に直接ご連絡をいただければと思います。

また本書は、コロナ禍でもありますので、FAXにて回答を差しあげますことをご容赦ください。

不一

2022年8月3日

リンク総合法律事務所  
弁護士 紀藤正樹様

東京都渋谷区松濤一丁目1番2号  
世界平和統一家庭連合  
法務部長 山田達也  
電話03-3467-3181  
FAX03-3467-3186



### 抗議及び謝罪訂正要求(2)

#### 前略

貴職が、7月20日放送の読売テレビ「情報ライブ ミヤネ屋」で行った当法人を誹謗中傷する発言に対して、改めて強く抗議し、同発言の撤回と謝罪を要求します。

貴職は7月27日付「回答書」において、同発言は「貴団体の分派の事件であることを明示した上での発言ですので、貴団体のご指摘は誤解に基づくものです」と弁解していますが、事実に反します。

貴職は当該番組で次のように発言しています。

「そうですね。ですけど、それぞれが一部真実を語っているところがありますので、我々はこの3派、日本の統一教会も含めてですね、この分裂騒動についてはですね、中立的に見ていますし、実は日本ではですね、この2012年に文鮮明氏が亡くなって以降ですね、大きく分かれるとこの3派に分かれているんですけども、日本国内では、もっと細かく、実は信者が分かれています。ですから、4派とか5派とか6派とかそのぐらいの分かれ方をしていて、あの一番ひどい事案は、一番ひどい事案は、責任者とその自分の部下である信者が数人で分かれてですね、そして何て言うかな、お金がないものだから、その信者に対して売春させてたという事件まであるんですよ。非常に深刻な事件まであって、お金集めのためには何でもするという発想がですね、今は分裂含みで問題が生じていると思います」

即ち、貴職は、いわゆる「旧統一教会」が、日本国内では当法人を含めて「4派とか5派とか6派とかそのぐらいの分かれ方をして」いると述べた上で、一番ひどい事案として「信者に対して売春させていた事件まである」と言及しています。貴職が、当法人と当法人から離脱して独自の活動をしているグループを、「日本の統一教会を含めて」「あの一番ひどい事案は」等と言って、一括りにして発言しているのは明らかであり、「貴団体の分派の事件であることを明示した」との貴職の主張は事実に反しています。

そもそも、貴職が当該番組で「分派の事件であることを明示」しなかったため、貴職は

自らの Twitter アカウントで、「統一教会分派の事件ですので誤解なく」などと弁解を余儀なくされたのではないのでしょうか。

貴職の当該番組における発言が発端となり、当法人が「献金のために信者に売春をさせる」宗教団体であるかのようなデマが SNS 等を通じて世間に拡散しています。貴職の軽率な発言が原因で、当法人は具体的に名誉棄損の被害を受けているのです。

よって、当法人は貴職に対し、即刻、貴職の責任において、当該番組で上記発言を撤回し、謝罪するよう改めて要求します。

また、貴職は教団を離脱した者の行為に対して、「魂の救済」に責任があると述べていますが、宗教を信じた人間がそれを離脱する動機や、そして、その後どのような思想信条を持つか、その事情や背景は様々です。貴職は、その「売春事件」について詳細を確認しているのであれば、どういう分派の誰が、誰に対して、どのように指示して売春させたのか、そして、当法人にどのように責任があるというのか明らかにするよう要求します。

なお、貴職は「回答書」で、「対論と議論を通じ真実が深まると考えておりますので、今後も、お電話等で構いませんので、何かあれば当職宛に直接ご連絡をいただければと思います」と述べていますが、あらゆる機会を利用して当法人を誹謗中傷しようとする貴職の発言の撤回と謝罪が先ずなされるべきです。

本書送達後、当法人に対して 3 日以内に回答することを要求します。

早々

回答書 (2)

2022年8月8日

世界平和統一家庭連合  
法務部長 山田達也 殿

〒102-0083  
千代田区麴町四丁目7番地  
麴町パークサイドビル3階  
リンク総合法律事務所  
電話03-3515-6681  
FAX03-3515-6682  
弁護士 紀藤正樹



前略

貴団体の2022年8月3日付け書面(8月4日受領)に対して次のとおり回答させていただきます。

ご指摘の件は、7月27日付け回答書に記載のとおり、また貴団体の上記書面に引用のとおり、貴団体のご指摘は誤解と誤読に基づくものですので、撤回と謝罪は不要と思料致しております。

くり返しますが、当職は、対論と議論を通じ真実が深まると考えておりますので、今後も、お電話等でも構いませんので、何かあれば当職宛に直接ご連絡をいただければと思います。

ただ「先ず謝罪」と言われるなら、人に厳しく自分に甘くではなく、貴団体においてこそ、コンプライアンスという以上は、先ず、過去に生じた甚大な靈感商法被害の救済について、個々の被害者への真摯な謝罪、そして被害者に現に生じた被害回復のための措置や謝罪を含む抜本的な対策をしてほしいと思います。また本件で問題となっている分派問題から生じる被害について、貴団体において抜本的な対策をしていただきたいと思います。

本書も、コロナ禍でもありますので、FAXにて回答を差しあげますことをご容赦ください。

不一